

🍓 いちごみかんだより最終号 🍊

2024.3.21 なかよしこども園

今日は終業式。3月中も生活は続きますが、いちごみかん全員で生活するのは一先ず今日で終了です。最終号では年中職員からのメッセージ、そして、今年度で退職をするゆうゆさんからのメッセージを掲載させていただきます。

個性豊かで、とっても賑やかな年中の子どもたち。そんな子どもたちとこの一年間でたくさんのことを一緒に経験してきました。運動会になかよしまつり、生活展。それらの行事だけではなく、日々の生活の中でも「この子たちとどんなことをしたら楽しいのか」「何がこの子たちにハマるのか」ということを第一に考えて生活を作ってきました。その中で見せる子どもたちの姿。狙い通りの時もあれば、予想を超えてくることもあり、そんな子どもたちと年中職員みんなで楽しく笑い合っていた印象があります。

年中の職員はこの子たちが愛おしくてたまらないんです。子どもたちのどんな姿でも受け入れ、受け止めてきたこの一年。それに返すように子どもたちもドンドンとありのままの姿を出してくれました。それが嬉しくて嬉しくて。職員みんなでそんな姿を話し合っ、喜び合ったり、悩んだり…でも、そんな時間も子どもたちを捉える大切な時間になりました。

来年度はいよいよ年長の生活が始まりますね。持ち上がる職員もいれば、この学年を離れる職員もいます。それでも、今まで同様にみんなで子どもたちの姿を受け止めて学年を越えて、この子たちの成長を見守っていきたいと思っています。

色々至らぬ点もあったかと思いますが、一年間ありがとうございました。来年度も引き続き、よろしくお願いいたします。

年中職員一同



私にとっては最後の 1 年間を副担任としていちごみかんで過ごせたこと、心から嬉しく思っています。一緒にいる時間を重ねていけばいくほど、どんどん距離が縮まるのを感じ、一人ひとりのどんな姿も愛おしくてたまりませんでした♡

4月からはもり・かわですね。

年少・年中での様々な経験を重ねてきたからこそ、乗り越えられることがたくさんあると思います。そして逆に座り込んで歩き出さないこともあるかもしれません。でも、その姿を優しく受け止めてくれる大人がなかよしにはたくさんいます。そう！子どもたちもそれをわかっているからこそ、ありのままを出すんだと思います。私はなかよしで保育した年月は短かったですが、「先生と子ども」という上下の関係ではなく、友だちのような横の関係（もしかしたら、私のほうが下？だったかも）で子どもたちと関わったことが大切な経験と宝物になりました。いちごみかんの子どもたちは大好きなかけがえのない存在。だから、これからも会いに来たいと思っています！！その時にはたくさんお子様さまのお話をお聞かせいただけたらとても嬉しいです。1年間、ありがとうございました。

皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

ゆうゆ(丸山優子)

一年間ありがとうございました！

